



■「体感する」という貴重な経験 ～富士見高原移動教室～

9/9～11の3日間で移動教室ではあいにくの雨に見舞われた場面もありましたが、おおむね予定していた行程をこなすことができました。

1日目の車山登山では小雨が降ったり、^{もや}霪がかかったりする悪条件の中で山頂まで登頂することができました。一刻一刻と変化する天気や険しい山道から自然の脅威を痛感した一方、下山時に^{もや}霪が取れた際に目に飛び込んできた景色から自然の雄大さを感じることができました。

2日目は国際自然大学校日野春校に伺い、プロジェクトアドベンチャー体験というものに参加しました。各クラス2グループに分かれ、協力しなければクリアできないプログラムに取り組みました。なかなかクリアできないものに関しては、グループ内でお互いに知恵を出し合い、創意工夫をしている様子が見られました。夜のキャンプファイヤーは室内で行うことになりましたが、各クラスが準備してきた出し物やジェンガなどで大いに盛り上がりを見せました。

3日目の^{はんごうすいさん}飯盒炊爨では慣れない火おこしに悪戦苦闘しながらも、調理に取り組みました。想像以上に火を維持することの難しさを体感したのではないのでしょうか。こうして苦労を重ねて作ったカレーライスの味は格別だったと思います。

この3日間で体験できたことは、どれも普段の東京での生活ではなかなか味わえないものです。また2日目のアドベンチャー体験やキャンプファイヤーの出し物などで学んだ「集団に協力する姿勢」であったり、宿舎での生活で学んだ「見通しをもって行動し、時間を守る」ことはこれからの学校生活においても必要な力です。特にこの移動教室では普段仲が良いかどうかに限らず、会話を重ねて1つの目的に向かって協力したり貢献しようとする姿勢が磨かれたはずです。今回の移動教室の中で達成できたことが一過性のものではなく、皆さんの中にしっかり身に付いていることを願います。今回の貴重な経験をこれからの生活にしっかり生かしていきましょう。

■9月後半の予定です。

日付	曜	8年生の主な予定	1	2	3	4	5	6	学習教室
21日	月	敬老の日							
22日	火	国民の祝日							
23日	水	秋分の日							
24日	木		①	②	③	④	⑤	⑥	○
25日	金		①	②	③	④	⑤	⑥	○
28日	月		①	②	③	④	⑤	⑥	×
29日	火	中間考査1週間前	①	②	③	④	⑤	⑥	○
30日	水	④カット 部活動なし	①	②	③	⑤	/	/	×
10月1日	木	都民の日							○
2日	金	英検 16:00～	①	②	③	④	⑤	⑥	○
3日	土	土曜 ICT 学習 ※今回は国数英社理の選択制になります。	ICT	ICT	ICT	/	/	/	/

活動の様子を掲載しています。

◆保護者の皆様へ

- ・先日の移動教室出発時の見送り、到着時の出迎えにいらしていただきました保護者の皆様、ありがとうございました。なお、移動教室中にカメラマンによって撮影されました写真につきましては後日、販売のご案内をさせていただきます。
- ・本日(9/18)、試験範囲表と学習計画表の配布を行いました。連休中の 9/22(火)が試験 2 週間前になりますので、家庭学習の声掛けをご家庭でも宜しくお願い致します。

移動教室を終えて（生徒の振り返りアンケートより） ★3 日間の活動で多くの気づきや発見がありました！！

Q.今回の移動教室で最も印象的だった活動は何でしたか？

【1日目 車山登山】

・この雨の中で山に登ることを聞いて、プラネタリウムが良かったなと思っていたけど、登り始めたら意外と楽しくて、友達とワチャワチャ話したりゲームしたり歌を歌ったりして登ることができました。あと、あまり見れませんでした。霧と雲と大きい山々を一度に見ることができて、登ってよかったと思っただけ、自然にもたくさん触れられました。

・雨天で足元が滑りやすかったため、周囲との連携や声掛けが通常より多くなったと思います。登山時は先頭の方について、他のクラスの人達と同じような時間を共有し、ちょっとした声かけで、大きな怪我などがなく終えられたのがとてもいい経験になりました。また、下山時天気が良くなり登山の頂上付近で長野の景色を眺めることができたのも、東京では味わえないことでした。

【2日目 アドベンチャー体験】

・普段関わらない人と「あえてやってみる」、普段は挑戦しないことを「あえてやってみる」といった新しい視点が興味深く感じられました。また、仲間と「どうする？」と相談して、協力して解決する楽しさを学ぶことができ、仲間と笑顔あふれる楽しい時間にすることができました。学んだこれらのことを挙手をして発言する場面や仲間と交流をする場面などで活かしていきたいです。

・アドベンチャー体験では自然と触れ合うだけでなく与えられたミッションをクリアするのが楽しかったです。各自思ったことや感じたことを言い合い人の意見に耳を傾けクリアに向けて工夫するのが楽しかったです。

【2日目 キャンプファイヤー】

・「雨になったらできないだろ」って思っていたけど室内でも火のイラストを貼るなどペンライトで火を再現するなどの工夫をすればできて、工夫をする大切さを学べたからです。

・雨とか晴れとか関係なく、各クラスの工夫した出し物や各クラスのレククラス代表の人たちの誓いの言葉、みんなで踊ったジェンカなど移動教室でしか味わえない楽しさがたくさんありました。

【3日目 飯盒炊爨】

・飯盒炊爨では最初全然かまどに火がつかなくて30分ぐらいてこずっていて仕方なく先生に助けてもらい火をつけることができ、その後は自分一人で火の調節をしました。しかし、時間がたつにつれて火が消えそうになり焦りましたが、同じ班の友達が薪をもらいにいってくれてまた火を強火にすることができました。このようなヒヤヒヤする時もありましたが無事、美味しいカレーを作って校長先生と食べることができたのが一番の思い出です。

・火を付けるまでに30分以上かかりとても大変で、現代の生活がいかに便利かを実感しました。調理ではじゃがいもが固かったり、ルーが水っぽかったりして失敗し、親が美味しいご飯を作ってくれることのありがたみがわかりました。

【その他】

・朝起きてから朝食を食べるくらいまでの時間。朝6時の起床でも班員はほとんどがすぐに起きていたし、起きるのが遅い人も起きてからは布団の片付けから移動までテキパキと素早く動いて、朝の集いでは朝早くでもちゃんとピートイトラジオ体操の動きも揃っていたりと、朝はやくでも怠けていたりする人が見ている限りではなく、そこがすごいと思いました。

Q. 移動教室中、活躍していた人は誰ですか？

Sさん：レクの劇のときに「こうしたほうがいいんじゃない？」と意見を出していることも多く、そのおかげで良いものになったと思うし、みんなをまとめたり司会をしていたりと責任感もあり、いろいろな場面で声掛けやアドバイスをしていたから。

Mさん：登山のときも大きな声で伝達してくれて、宿舎内では、室長の仕事についてわからないことがあったときに、先生に伝えてくれた。

Uさん：理由は2日目のアドベンチャー体験ではUさんを中心に難しい問題に向き合ってすごくチーム全体のことを考えてくれていたのが素敵だし、みんなを楽しませてくれたから。また最終日の飯盒炊爨では薪に火をつけるというのを全力でやってくれて、大変なことにも積極的に動いてくれてすごく印象に残っています。

Hさん：部屋では重要なものを忘れていないか、何時までにはしおりを記入しようなどの声をかけていたし、飯盒炊爨でも薪が足りないんじゃないかな、少し蓋を開けて確認しよう、などと声をかけていたからです。

Kさん：最後の布団の片付けのときにすごくたくさん声をかけてくれたし、うまくできなかった人を手伝ってくれたし、一人ひとりにできたか聞いて、まとめていたからです。また、布団を敷くときもみんなに指示を出してKさん中心にできたし、荷物の整理の呼びかけとかもしてくれたからです。

Aさん：理由は、生活班の副班長として班長の自分をサポートしてくれたり、自分が先生に用があって、席を外しているときでもみんなをまとめてくれて、他の班員が就寝時間を過ぎて、喋っているときでも注意をしてくれたからです。

Uさん：理由は僕が体調を崩してしまったときから、代わりに班長の仕事の点呼をとってくれたり、体調が悪かった僕を常に気にしてくれて、肩を貸してもらったり、荷物を持ってもらったりしたからです。

Cさん：理由は、私が室長としての仕事があったとき、室長だけに任せるという態度ではなく、他の仕事や準備をして部屋のメンバーとしての意識を持って行動していたからです。

Fさん：理由はしおりを常に確認していて、分かりにくいところも先生に聞くなどをして、完全に書いてある事を理解して行動していたからです。

Kさん：食事の挨拶の際に「静かに！」と大きな声で言ってくれたからです。自分は大きな声があまり出せなかったので助かりました。

Uさん：体験では声掛けを人一倍やってくれたり、みんなのやる気を上げるため、ポジティブな言葉をかけてくれました。そのうえに、成功するようにと案を出してくれたことがありました。飯盒炊爨では、なかなか火がつかないところを調理の方を早く済ませ、火担当の方を手伝ってっていました。

Yさん：理由は、なにかあれば声掛け等がはやすいし、宿舎では別の部屋だけれど次部屋を出る時間など班長同士で共有したりと班以外でのところでもよく行動していたと思ったから。

Mさん：しっかりと美化寝具の仕事を徹底し、自分の部屋だけではなく、他の部屋で美化寝具係がいないところを手伝っていたから。

Kさん：理由は宿舎での集団行動のときに班長はプレッシャーがすごくかかる仕事なのにみんなをちゃんとまとめて時間通りに行動できるように常に気を張ってくれていたからです。Kさんも朝が弱いのに早く準備して他クラスに声をかけていたのを見て、気づいていても簡単にできることではないのに当たり前のように声をかけて助ける姿が本当にかっこいいと思いました。

Iさん&Iさん：理由は朝の放送がなかったら絶対に起きられなかったからです。私達よりも早く起きて、私達のために早朝から聞きやすい声で放送してくれた二人には感謝でいっぱいです。そして、みんなにとって一番必要で重要な役割を担ってくれたと思っています。